

『カンボジア学校運営プロジェクトについて』

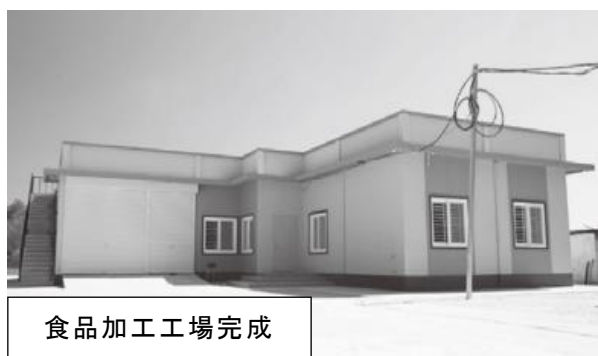
講師 徳島県立徳島商業高等学校 教諭 鈴鹿 剛 氏

2012年に徳島商業高校が JICA 国際協力機構の「草の根技術協力事業」の採択を受け、徳島商業高校が中心となってカンボジアの学校（カンボジア - 日本友好学園）を支援する事業に着手。7年にわたる交流はカンボジアの学校敷地に HACCP 対応工場を建設するなど本格化しており、現在、徳島とカンボジアの高校生がフェアトレードによる菓子の共同開発を進め、2020年東京五輪・パラリンピックの選手村での提供を目指している。その交流により2017年に徳島県が五輪でカンボジアのホストタウンとなるきっかけにもなった。



カンボジア日本友好学園

日 時 令和元年9月30日（月）
講演会 17時00分～19時00分
場 所 徳島ワシントンホテルプラザ 2階



食品加工工場完成

カンボジアにおける学校運営の資金不足という問題を改善するため、共同で開発を行い、その売り上げで運営を助けるという自立支援型プロジェクトを立ち上げ、平成28年～31年には工場建設を計画し、JICAの草の根技術協力事業の交付金により食品製造工場が完成。また、郊外の村の生活実態を知り、向上させたいとの考えから、生徒たちによる提案型フェアトレードが開始。生徒たちは HACCP について学習し、現地農家との連携、工場建設における SWOT

分析や原価計算、衛生的な砂糖加工の調査（沖縄県黒糖作り）、製造環境の確認、テレビ会議による製造依頼等を行った。

食品工業協会として、多くの方にこの取り組みについて知っていただき、何ができるか考えるきっかけになればと思い、会員以外の方にもご案内させていただいております。

徳島県食品工業協会
会長 斎藤 正治

F A X 088-625-7059 徳島県食品工業協会 行
参加申込書

事業所名		電話番号	
所在地		E-mail	
役職・氏名		役職・氏名	